

9月23日は「手話言語の国際デー」です

手話でつなごう 世界をつなごう



9月23日は「手話言語の国際デー」です。聴覚障がい者にとっての言語である「手話」をもっと知ってもらうために、2017年に国連で採択されました。市でも、皆さんに手話への理解を深めてもらい、生活の中に普及させてもらうため、啓発活動を行っています。

障がい福祉課☎43-9106

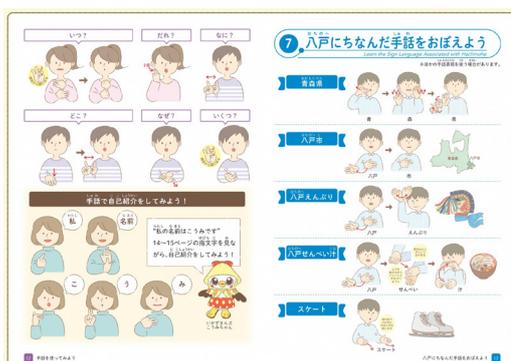
「みんなで手話」を発行しています

市では、平成31年3月に制定された手話言語条例の認識に基づき、「手話は言語」を掲げ、ろう者とろう者以外とが支え合い、共生する地域社会の実現を目指しています。

その取り組みの1つとして、啓発パンフレット「みんなで手話」を発行しています。完成には、八戸市ろうあ協会など関係者の協力や、八戸ライオンズクラブの寄付金など、多方面からご支援をいただきました。

ろう者のことや手話のこと、簡単なあいさつや八戸にちなんだ手話などを紹介しています。手話への理解や普及の第一歩となるよう、市内の公共施設、ショッピングセンター、医療機関など、生活の中で利用する場所で配布しています。

市のホームページからも閲覧やダウンロードできますので、ご家庭や職場でぜひご利用ください。



市ホームページ内で

[みんなで手話](#)

[検索](#)

市長記者会見で手話通訳を導入しています

皆さんは、八戸市に手話通訳員と登録手話通訳者がいることをご存じですか？

日頃、ろう者やそのご家族から依頼を受けて、生活のさまざまな場面で手話通訳をしています。新型コロナウイルスの感染拡大をきっかけに、市長記者会見に手話通訳を導入しています。市長の発表を同時通訳することにより、幅広い情報発信が進むとともに、手話に触れる機会が増えます。

視聴方法の1つとしてYouTube「八戸市広報チャンネル」からご覧いただけますので、見逃した人や見直したい人はぜひご利用ください。



[八戸市広報チャンネル](#)

[検索](#)